

シラバス参照

講義名	電波天文学演習 II		
講義開講時期	通年(前期開始) Whole Year		
基準単位数	2		
代表曜日		代表時限	
研究科等	物理科学研究科		
専攻・プログラム	天文科学専攻		
科目区分	電波天文学		
授業を担当する教員	廣田朋也、ほか国立天文台水沢VLBI観測所所属の教員。		

担当教員

氏名
◎ 廣田 朋也

授業の概要	専攻の教育目標を達成するためには、講義等を履修することと並んで、関連研究分野の教員、研究員、大学院生、他機関の専門家等と議論し、研究動向を把握すること、自らの研究の立ち位置を確認することが重要である。本演習は、毎週行われている電波天文学分野の超長基線電波干渉計VLBI関連の研究発表会に参加し、所定の学修をした3年次、4年次、5年次院生に対して専攻専門科目（演習）としてその履修を認定するものである。
到達目標	<p>外来研究者や内部研究者、他の大学院生の研究発表に参加して科学的議論を行うことで、電波天文学分野における研究の動向を大きくつかみ、自らの研究の位置づけを明確に示し、研究計画を自ら作ることができるようになること。</p> <p>自らの研究を広く研究分野の異なる研究者に理解させ、科学的議論を行うことができるようになること。</p> <p>研究会での議論、特に発表に対する質問を積極的に行い議論をリードできるようになること。</p> <p>To learn currently on-going researches in radio astronomy, to clarify the status of students' researches, and to design their own research plan by attending scientific discussion with researchers and students in SOKENDAI and other institutes in the colloquium.</p> <p>To give the audiences in different research fields understanding students' researches and to make scientific discussion with these audiences.</p> <p>To lead discussion in the meetings, in particular raising questions to the presentations actively.</p>
成績評価基準	
	成績評価基準
成績評価基準	02:P(合格), F(不合格)の2段階評価
成績評価方法	自らの研究発表を半年に1回以上行い、外来研究者や内部研究者、他の大学院生の研究発表に8割以上出席し、科学的議論に参加することをもって、成績はP合格もしくはF不合格で判定する。
授業計画	VLBIコロキウムは、授業期間中（長期休暇や日本天文学会年会など他の大きな研究会開催期間を除く）に週1回の頻度で開かれる。授業時間は1時間～1時間30分を割り当てる。
実施場所	国立天文台中央棟南2階セミナー室。参加者が多くなる場合は他の部屋に変更となることもある。
使用言語	発表資料は英語での作成とする。また、口頭発表や議論は英語を強く推奨する。
教科書・参考図書	特になし。 Not specified.

[ウインドウを閉じる](#)